

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス リノキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	どんな重い障がいがあっても生まれ育った地域で暮らすことが出来るように支援しています	保護者の思いに寄り添い、お子様の特性を理解し、多職種（児童発達支援管理責任者、看護師、機能訓練士、保育士、児童指導員）で連携をとり、支援します。ご家族が安心し、お子様が楽しく過ごせるように、ご家庭と事業所間が信頼関係を築き継続できる努力をします。	職員それぞれの自己研鑽と、チームワーク作りを大切にします
2	意思決定支援を大切にします	お子様の思いを受け止め理解することが出来るようにしています。表情、目の動き、手や指の動き、声や行動などで表出できるように関わっています。 また、小さいころから自ら選択する機会を積み重ねて、大人になった時に自信をもって自分の気持ちを表すことが出来るように取り組みます。	子ども達には、常に話しかけコミュニケーションをとります。また、子どもたちの情報を、職員間はもちろんのこと、学校やほかのサービスと共有していき、成長の手助けとなる関りをしていきたいです
3	子どもが子どもらしく過ごし、楽しく遊び、いろいろな経験を積める場所です	重い障がいがあっても、公園へ行ったり、お買い物に行ったり、外出しています。スイッチや視線入力、キャリーロコなどで、遊ぶことができます。お友達とゲームをしたり、さまざまな活動をします。季節の行事を楽しみ、四季を感じられる取り組みをしています。	ひとりひとりが持つ個性を大事にして、自分が持つ力を発揮できるように工夫していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の狭さ	活動するには問題ないスペースですが、バギー置き場や療育に必要な物品を置く場所は工夫が必要です。	法人には場所の移動を働きかけます 整理整頓や様々な工夫で過ごします
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症児デイサービス リノキッズ

公表日 2026年2月28日

利用児童数 2026年2月28日

回収数

11

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	5		1		放課後デイの子どもたちが帰ってくる と、狭く感じますが工夫してやっていき ます	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1	時々スタッフ不足と聞く	スタッフの急な休みなどで少ないときは ありますが、全体の人数は問題ありませ ん	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				玄関は大丈夫なのかなと思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	11						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	11						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	10	1				保護者との面談をもとに個別支援計画を 作成しています	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	11						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	11					興味を持っていることに寄り添って くれたり、季節のイベントのも工夫をし てくれていて、楽しく過ごしています	職種に関係なく、意見を出し合い活動 プログラムを立案しています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	4	1	1	5			特に交流は設けていません。感染症等を 考えると、なかなか交流できません
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	11						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	10	1				保護者の方が参加できるようなペアレン トトレーニングや研修は行っていません	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態 について共通理解ができていると思いますか。	11						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				個別支援計画の面談は定期的に行ってい ます。その時にいろいろ相談される方も 多いです。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きよ うだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が 設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2		2		年に1回ずつですが、茶話会、クリスマ ス会を開催して、ご両親やきょうだい には参加いただいています。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		1		マニュアルはすべて揃っています。保護者の方に周知していなかったため、次年度は周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1		訓練は行っています。狭い事業所なので、地震、火災など様々なことを想定して訓練をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			2	事故にあったことがないため不明	今まで大きな怪我はないのですが、リノキッズの滞在中に何かあった場合は必ず保護者に伝え状況説明をしています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				いつも楽しそうに通っているとても楽しみにしています	子どもたちが楽しく笑顔で過ごせるように工夫してまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				家族の入院の際は配慮があり助かった親も安心しています	今後も、お子様だけではなくご家族にも寄り添ってまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重産児デイサービス リノキッズ				公表日	2026年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	8	狭いように感じます スペースを工夫して対応している バギーの置く場所等を工夫しているが狭い	狭い中で、みんなで協力し合い、工夫をしていきます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3	急な休みで足りない日は、他事業所からの応援がある 午後からのパートさんがほしい	足りないところは、法人に相談して補充します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	個室の代わりにパーテーションなどで対応している。	限りあるスペースで、お子様のプライバシーを守る工夫をします	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	体温調整が苦手な子には、寝具やアイスノン、電気毛布などで対応している	これからも、みんなが快適に過ごし、快適に過ごせるように工夫していきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2		定期的な面談で保護者の意向を把握しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		定期的なミーティングがあり、意見を話しやすい関係性が作られている	職員の意見は、管理者、看護師主任が中心となり把握するようにしています。管理者は、職員の意見を法人に伝えています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7	外部評価を把握できていない	外部評価は行っていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		なかなか全員と話し合う機会が少ないのですが、職員の意見を吸い上げるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	5	標準化されたツールを用いることはない	標準化されたツールは、リノキッズの子どもたちには当てはまらないので使用していません	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4		業務終了後にはできないので、次の日の朝、振り返りを行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	2		4つの基本活動のうち、2つは組み合わせ活動しています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2		就学前から利用されているお子様がほとんどなので、そのような事例がありません
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		今春初めて障害福祉に移行するお子さんがいますが、同法人の生活介護ということもあり、情報は提供しています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3		支援センターと連携をとっています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6		地域のほかの子どもたちと交流する機会は設けていません。感染症のことを考えるとなかなかできません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	3		年に数回ですが、管理者が参加しています
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎時にご家族の思いを聞くようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		家族支援プログラムや、ご家族が参加できる研修は実施していません
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		きょうだい同士が交流できるとよいと思う 茶話会や、家族が参加できるイベントを行っている	ご家族参加のイベントとして茶話会やクリスマス会を行いました。特にクリスマス会は、ごきょうだいや保護者の方も楽しんでいただけて、賑やかな会になりました
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	周りの保育園と協力してイベントを盛り上げたことがある	事業所では行っていませんが、法人でお祭り等を開催しています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	2	身体拘束を行っていません	身体拘束（バギーのベルト、おむつ交換時や、サクシオン時のおさえなど）については、保護者の同意を得ています